



【教育目標】 自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。
【一学校一改善】 ルールメイキング (継続) 先手あいさつ 一人一入賞

新たなステージへ

3学期も残り一ヵ月余りとなりました。3年生は、私立高校入試、公立高校推薦入試を終え、3月2日・3日には公立高校の一般入試を向かえます。中学校卒業までも、残りわずかとなってきました。

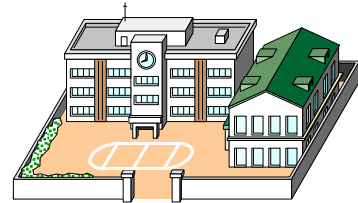
2年生は、「立志のつどい」を終え、将来への展望と自覚を高め、自己の生き方について考えを深めることができました。

また、1・2年生は、学年末テストも終わり、学年の振り返りと進級に向けての自覚を高め、新たなステージへと向かう大切な時期となってきます。

「遠きをはかる者は富み 近くをはかる者は貧す」

これは、江戸時代末期に、自らの努力で逆境を切り拓くとともに、関東から南東北の農村復興に尽力した二宮尊徳の言葉です。全文を紹介します。

遠きをはかる者は富み 近くをはかる者は貧す。
それ遠きをはかる者は百年のために杉苗を植う。
まして春まきて秋実る物においてをや。
故に富有なり。



近くをはかる物は 春植えて秋実る物をも尚遠しとて植えず
唯眼前の利に迷うて まかずして取り
植えずして刈り取る事のみ眼につく。
故に貧窮す。

この言葉にあるように、皆さんそれぞれが、心に豊かな種をまき、挑戦という「考動」を続けることで、夢が現実となるよう人間力を高めていくことができるよう期待しています。

保護者の皆様とともに、子どもたちに適度なハードルを設ける厳しさと目標を達成した時に一緒になって喜ぶ優しさをもって子どもと係わり、成長を見守っていきたいと思います。

卒業を迎える3年生へ

中学3年間は、楽しい思い出ばかりではなく、辛く悲しいこともあったことでしょう。

勉強も部活動も精一杯頑張りましたね。

卒業を目の前に、ここまで成長できたのは、皆さんが前に進むのを諦めなかったからです。

これからも自分を信じて前に進み続けてくださいね。

辛いときは、少しだけ立ち止まればいいさ。

